

大腸がん

1. 診断

(1) 精密検査(確定診断)

大腸の内視鏡検査が必要です。内視鏡検査では大腸の内部を観察し、がんが疑われる病変があると生検(病変の一部を採って、顕微鏡で詳しく調べる検査)を行い、病理検査・病理診断で確定診断します。

各診療所では困難ですが、八重山病院または徳洲会病院で可能です。また、本島のがん診療連携拠点病院(☉P41)や専門的がん診療機関(☉P44・大腸がん)でも可能です。

(2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/stage=病気の広がり、がんの進行の程度)を決定することが必要です。

各診療所では困難ですが、八重山病院または徳洲会病院で可能です。

2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

(1) 内視鏡治療

病変の状態により、内視鏡的ポリープ切除術(ポリペクトミー)、内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が行われます。

各診療所では困難ですが、八重山病院または徳洲会病院で可能です。

(2) 手術(腹腔鏡下手術を含む)

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。最近では、腹部に小さな穴を作り、そこから小型カメラと切除器具のついた腹腔鏡を入れ、画像を見ながらがんを摘出する腹腔鏡下手術と

いう方法もあります。

各診療所では困難ですが、八重山病院または徳洲会病院(腹腔鏡下手術をのぞく)で可能です。

(3) 放射線療法(がんの治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。

石垣市では困難なので、本島の放射線療法が可能な病院で治療を受けることになります(☉P45)。

(4) 化学療法(抗がん剤、分子標的治療薬など)

手術が成功しても、手術後に化学療法が必要なことがあります(術後補助化学療法)。また病期によっては、最初から化学療法を行う場合があります。

各診療所では困難ですが、八重山病院または徳洲会病院で可能です。

